

發刊詞

蔣夢麟

この定期刊行物は農村の進歩の爲めに編輯したものである。私達の目的は農村の生活改善や農業技術の指導の爲め、又國內外の消息について農村の人々にお知らせする事である。本省で今までのこの種の農村新聞がなかった關係上、農村の方は自分達の事情以外に他事については知る事が少く、何かしら外界からかけ離れた感じがします。

此の様なわけで本報を發行する事になりました。そして本報を通じて、農村の人の進歩の爲め、農業指導、衛生常識、婦人児童讀物、教育に関する新しい計劃、或は面白い物語や新聞摘要等の報導を全省四百萬の農村の皆さんに送りたいと思ひます。

然し一般の新聞雑誌のやうな難しい無味乾燥したものではなく、農村の皆さんに面白く讀まれ、興味を持たれるやうに、そして農村の各分野から取材して分りやすく、しかも如實に報導して、農村の需要に即ち、實用性に富んだものを知らせるべく努力して居ます。

私達は他の新聞社や雑誌社とお互ひに協力して行くことを切に希望して居ります。新聞材料に關しては私達の持つて居るものなら喜んでお役に立ちたいと思つて居ります。又本報に掲載した記事や新聞は何時でも利用して下さい。

本報は、經濟合作總署、農復會教育處及び美國新聞處の聯合のもとに發行され、今般材料でお送りします。廣く社會進歩の意見を求める爲め、若し十の機關と密接な連絡を伴つて特に行政府府發言人、省政府新聞處處長、省政府教育廳長、省農務廳長、省農會理事長、米國經濟合作總署中國分署長、美國新聞處處長の方々を顧問委員としてお願ひしました。

耕やす人に濫い親心 公有地拂下げ實施辦法通過

陳行政院長土地政策を語る 省府では早や拂下げ準備中

公有土地を一般自作農に拂下げて自作農を扶植する辦法についてはかねてから各關係當局に於いて研究され、本省農民への一大福音として各方面から大いに期待されて居たところ、去る五月三十日、臺灣省放領公有地辦法（草案）が立法院第一八八回會議で修正通過し、その辦法全文が發表された。尙此の公有地拂下げ辦法は主として現在公有地を耕作して居る小作農や半小作農に適用され、十年間に分けて地價を納付し、完納した時は拂下げ土地をそのまゝ、私所有する事が出来るやうに規定されて居る。此の實施辦法は三七五減租に次ぐ本省の農村改革の一大政策であり、全省の小作農は政府のこの政策に感服して居る。

此の政策的意義は、公有地拂下げ實施辦法に於いて陳院長が左の通り談話を發表した。

我が國には遠く秦の時代に土地私有の現象があらわれた。今迄二千年餘年立つたが、此の問題は未だ完全に解決されて居ない。國々は土地問題の重要性を知り、早くから一耕者有其田の主張をされた。政府も一耕者有其田の政策を定め、土地法にもつきり規定されて居りますが、今日迄未だ實行するに至らない。其理由は我々のこの窮乏な土地、公有地を多く持つて居るが、その土地を耕作して居る農民は全人口の大多數を占めて居る。我々の農民は全人口の大多數を占めて居るが、彼等に自分の生命を託す事の出来るものがあつて、始めて天下が本當に太平になるのである。

私はこれに於いて、臺灣省政府主席兼任省府教育廳長、省農務廳長、省農會理事長、米國經濟合作總署中國分署長、美國新聞處處長の方々を顧問委員としてお願ひしました。

現在の所まだ試験時期にすぎません。各界の、特に農村の皆様の御協力と御助言を切望して止まない次第であります。



陳院長は公有地拂下げ實施辦法に對し、農民の生命を託す事の出来るものがあつて、始めて天下が本當に太平になるのである。

本省の公有地は總面積十六萬餘甲に達するが、第一回拂下げは三萬六千二百五十九甲の予定で、この中臺南の公有地が最も多く八千餘甲を占めて居る。其後は規定に拂下げの順序、農民一戸當りの單位とし、毎戸平均水田五分乃至一甲、畑二甲乃至四甲、旱田五分乃至一甲、細二甲乃至四甲、の順序で現在公有地を耕作して居るものに優先權を與へる。又拂下げを受けた農民は三七五減租の地租を十年間納めれば、その土地を私所有出来る様になつて居る。

一期作穀買上げ價格 一キロ七十錢に決定

昨年二期作より十錢増し

四十年度第一期作穀の買上げ價格については、去る六月十六日に省政府より省參議會大會に提出して審議に付され、討論の結果原案通り通過し、一キロにつき七十錢、即ち一斗につき四十二錢と決定した。地租以外の供出額や大中地主の除額を上げる場合の外、縣政府の取立てる地租、防衛稅及び公有地拂下げ價格及び公有地個別租も穀の價格は一律一斗に付三十二錢として換算される。今度の價格は三十九年度第二期作穀買上げ價格に比し一キロ當り十錢増しとなつたわけである。

又省議會大會では買上げ價格の審議に際して三つの條件付きで通過に同意した。即ち一、省議會の調査統計の正確を期する爲め、政府は必要調査及びその他の關係機關と合同して糧食毛產原調査委員會を組織する事。二、農民に對する貸付金三千萬元の貸付期間を更に七月十日に至る間の三ヶ月とし、七月一日より七月十日に至る間の三ヶ月を平均價格（最高價格一斗に付三十二錢）によつて實物に換算して返済する事。又生産資金貸付別貸付金を行ふ事。三、雜糧は軍用及民用に影響しない範圍内で極力輸出に對し肥料及び農具必需品と交換輸入する事。

本年度の對華經濟援助 四千一百七十萬弗追加

經合分署正式に發表

米國經濟合作總署中國分署の六月二十五日の正式發表によれば、ワシントンの總署では更に四千一百七十萬ドルを支出して、本會計年度（去年の七月一日より今年の六月三十日まで）の對華經濟援助資金の追加とした。因みに本會計年度後援資金は五千六百萬ドルであつたが、今回の追加を合算すると總計九千七百七十萬ドルに達した。

この四千一百七十萬ドルの追加支出のうち約半額は糧食の一般計劃資金に用ひられ、残る半分は駐臺米軍糧庫周圍の軍事計劃に對する特別の資金援助に充てられる。此の軍事方面に對する特別の資金援助は經合總署の臺灣に於ける基本工作方針の範圍の擴大を表明し、その主要目的はこれによつて中國政府の莫大な軍費支出を補つて國民經濟の負擔を輕くする事にある。

減輕受災農民租稅 省府制定減收申報表

省府制定減收申報表

省政府爲使受災減輕之農民、得減輕地租及稅捐負擔、特制定減收申報表、交各縣市政府收存、以便于一因受災而致減收時、分發農民填報、農民應持表向各鄉鎮公所請求派員到場勘察、並予證明、以便憑該項證明書申請減免租稅。

農復會撥款協助 建造晒穀場三千處

農復會撥款協助

農復會爲改善本省農業、會定一個協助稻種推廣農民建造晒穀場的計劃。該會先後會撥新臺幣一百五十萬元、以備在本省各地建造此三千個晒穀場之用。農林廳以農復會補助的款項購買水泥、免費分配給農民、平均每一晒穀場由農復會分配的水泥、約值新臺幣三百元。這項計劃現正由農林廳順利推行中、並獲得全省農民及地方政府的重視和支持、且在中國南部各地、已大部完成、北部和東部各地現仍在進行中。

臺糖日內發放 蔗農田租貸款

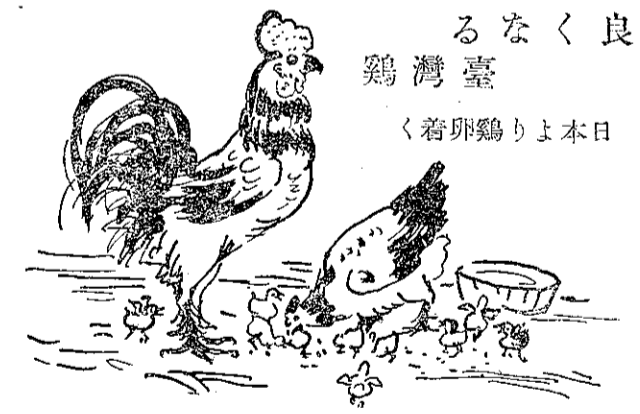
蔗農田租貸款

臺糖公司四一四一年期之蔗農田租貸款、已經核定每甲爲新台幣五二五元、對象限于兩期作田。花蓮、台東、台中、月眉、新竹、虎尾、屏東、等十七糖廠區域內之蔗農、貸款額共達三百三十八萬八千二百八十一元。臺糖公司現正辦理發放手續。聞政府核定之田租貸款每甲爲四二〇元、台糖公司爲獎勵增產、特提高至五二五元云。

農復會資建防風林 四縣共四五〇公頃

農復會資建防風林

臺灣爲一海島、所以農作物每年被風砂吹襲的特別多、爲使農民今後免受此損失、農復會已撥新臺幣二四六、七、七三元、以備在桃園、苗栗、雲林、臺東等縣建造防風林四百五十公頃。這項防風林如能建造成功、不但可保障良好的農田免遭砂土埋沒、沿海一帶的氣候也可得到調節、對於水產養育及沿海捕魚、都有很大的益處。



良なく 臺灣 鶏 本日よ卵着